

段ボールコンポストを始めませんか？



段ボールコンポストとは？

段ボール箱を利用したごみ処理容器のことです。段ボールに基材を入れ微生物の働きによって生ごみを分解し、堆肥を作ります。においも少なく、場所も取らないのでベランダでも取り組むことができます。

🌿 食品ロスをなくそう

「食品ロス」とは、まだ食べられるのにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことをいいます。日本における食品ロスは年間約 500 万トン発生しており、その内の約半数は家庭から排出されています。せっかく購入した食品を無駄にして捨ててしまっているということです。日本は食料の多くを海外から輸入している一方で、たくさんの食品ロスを排出しています。食品ロスを減らすことは、食費の無駄遣いを防ぎ、ごみも減らせるので環境にも配慮できます。日々の生活の中で、できることを考え、行動に移しましょう！

食品ロスを減らす 3つのポイント

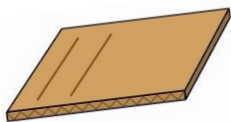
- ① 買いすぎない
- ② 作りすぎない
- ③ 食べ残さない

👉 用意するもの

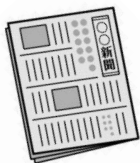


みかん箱程度の大きさで、厚手で強度のあるもの。

段ボール箱



二重底用の段ボール板
段ボール箱の底を補強し、底が抜けるのを防ぐ。



新聞紙
段ボール箱の底に敷き、新聞紙で余分な水分を吸収させる。



すのこなど網目状の台
段ボールコンポストの底の通気性を確保するため、すのこなどの上に置く。



基材
3:2の割合で、段ボール箱の6割くらいまで入れる。
(ピートモス:もみ殻くん炭)

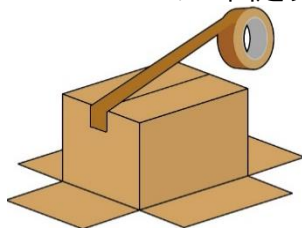
虫よけキャップ
使わなくなったTシャツでも可。



ひも
虫よけキャップの固定用。

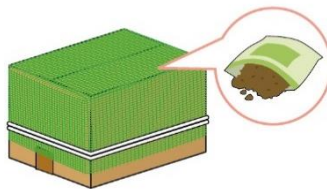
👉 つくり方

手順1 段ボール箱の底が抜けるのを防ぐため、紙製ガムテープで固定する。

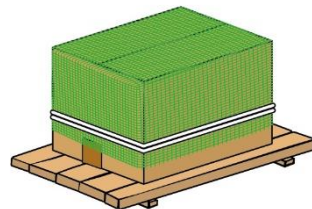


段ボール箱の中に二重底用の段ボール板を入れ、その上に新聞紙を重ねる。

手順2 基材を段ボール箱の6割くらいまで入れ、蓋をして虫よけキャップをする。

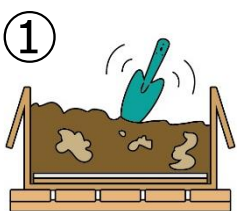


手順3 雨のかからない風通しの良い場所を選び、網目状の台(すのこなど)の上に段ボール箱を置く。

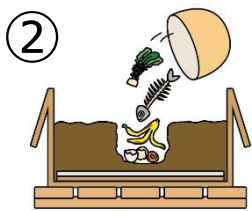


👉 生ごみの入れ方

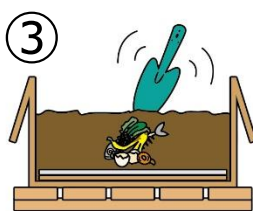
※約3ヶ月たったら投入をやめ、週に1~2回1ℓ程度の水を入れてかき混ぜます。これを3週間繰り返したら、堆肥の出来上がりです。
※初めての方は野菜くずや果物の皮、茶殻などの植物性の素材を中心に始めることをお勧めします。



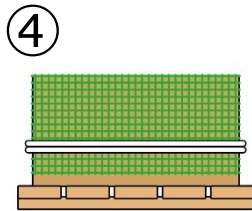
① 前日に入れた生ごみがあれば、その部分のみよくかき混ぜる。



② 中心部に穴を掘って、生ごみを入れる。



③ 上から基材を被せる。



④ 蓋をして、虫よけキャップをかける。



お問い合わせはこちら

下呂市役所
環境部 環境対策課
☎0576-26-5011